

岩手県企業短期経済観測調査結果（2016年12月）

- 調査対象企業は、岩手県内に本社を置く資本金2千万円以上の67社
- 回答率100%（回答数67社、うち製造業27社、非製造業40社）
- 回答期間 11月14日～12月13日

1. 業況判断指数（DI）

業況判断指数（全産業）は、前回調査（9月）比、「良い」超幅を拡大した（前回3 → 今回10；2011年12月調査以来21期連続での「良い」超）。

業種別にみると、製造業で、化学の一部で判断を改善させる先がみられ、「良い」超幅が拡大（前回0 → 今回3）したほか、非製造業では、国体の当県開催もあって宿泊・飲食サービス、情報通信等で判断を改善させた先がみられたことから、「良い」超幅が拡大（前回5 → 今回15）した。

先行きについては、製造業で、これまでの円高等を背景に慎重な見方をする先が散見され「悪い」超に転じている（今回3 → 先行き予測▲11）。また、非製造業でも、震災復旧復興関連需要の減少、国体効果の剥落等を見込む先がみられ、「良い」超から「悪い」超に転じており（今回15 → 先行き予測▲8）、全産業ベースでも「良い」超から「悪い」超に転じている（今回10 → 先行き予測▲9）。

この間、各種判断DI（参考1）をみると、「製商品在庫判断DI」で、「過大」超幅が縮小しているほか、「仕入価格判断DI」で「上昇」超幅が拡大するとともに「販売価格判断DI」でも「下落」超幅が縮小している。

（「良い」－「悪い」）回答社数構成比、%ポイント、（ ）内は前回予測

	15/9月	12月	16/3月	6月	9月	12月	17/3月 (予測)
製造業	▲3	▲4	▲4	▲7	0	3(▲8)	▲11
素材業種	0	▲11	▲11	0	11	22(0)	▲11
加工業種	▲5	0	0	▲11	▲6	▲6(▲11)	▲11
非製造業	25	22	22	10	5	15(0)	▲8
建設	43	14	29	15	15	15(▲7)	▲14
全産業	14	12	12	3	3	10(▲3)	▲9

2. 売上高・経常利益（2016年度見通し）

2016年度の売上高は、前回調査に比べ製造業、非製造業ともに僅かに下方修正。前年度と比べると、製造業では、新製品投入効果による増収を見込む先がある一方、新興国の需要低迷等を主因とする減収を見込む先もみられ、全体ではほぼ前年度並みとなる見通し。一方、非製造業では、震災復旧復興関連需要のピークアウトを主因に前年度比1割方の減収見通しとなっており、全産業ベースでは前年度比小幅の減収計画となっている。

2016年度の経常利益は、前回調査に比べ、製造業では自動車向け部品の好調による上方修正がみられたものの、非製造業では売上下振れを主因とする下方修正がみられたため、全産業ベースでは若干の下方修正となった。この結果、前年度比では、製造業が新興国の需要低迷等を主因に、非製造業では震災復旧復興関連工事の減少や競争激化、人件費の増加等により、各々前年度比2割方の減益を見込んでおり、全産業ベースでも前年度比2割方の減益計画となっている。

—— 前年同期比・%、()内は前回調査比修正率・%

	2015年度(実績)		2016年度(見通し)					
	売上高	経常利益	売上高			経常利益		
			年度	上期	下期	年度	上期	下期
製造業	3.5	▲ 1.8	▲ 0.1 (▲ 0.5)	▲ 0.7 (0.0)	0.4 (▲ 0.9)	▲ 20.1 (5.0)	▲ 26.2 (9.5)	▲ 11.7 (0.3)
非製造業	4.8	2.5	▲ 8.9 (▲ 0.5)	▲ 6.9 (0.4)	▲ 10.7 (▲ 1.4)	▲ 19.3 (▲ 4.9)	8.1 (0.5)	▲ 33.7 (▲ 9.1)
全産業	4.3	0.8	▲ 6.0 (▲ 0.5)	▲ 4.8 (0.2)	▲ 7.2 (▲ 1.2)	▲ 19.6 (▲ 1.6)	▲ 8.5 (3.8)	▲ 27.9 (▲ 6.3)

3. 設備投資額（2016年度計画）

2016年度の設備投資は、前回調査比、製造業、非製造業とも大きな修正がみられず、全産業ベースでは僅かな上方修正となった。前年度と比べると、能力増強投資のほか店舗改装や新規出店といった投資がみられ、全産業ベースで前年度を1割方上回る計画を維持。

(ソフトウェア投資を除くベース)

—— 同上

	2014年度 (実績)	2015年度 (実績)	2016年度(計画)		
			年度	上期	下期
製造業	▲ 1.0	▲ 7.2	13.0 (2.0)	1.5 (▲ 4.2)	22.1 (6.6)
非製造業	4.7	3.3	6.7 (▲ 0.8)	▲ 9.8 (0.4)	21.9 (▲ 1.7)
全産業	1.5	▲ 2.4	9.4 (0.4)	▲ 5.2 (▲ 1.6)	22.0 (1.8)

(参考1) 各種判断 DI の推移

—— 回答社数の構成比・%ポイント、() 内は前回予測

(1) 需給・在庫・価格判断 DI (全産業ベース)

		15/9月	12月	16/3月	6月	9月	12月	17/3月 (予測)
製商品・ サービス需給	「需要超過」—「供給超過」	▲13	▲18	▲9	▲15	▲22	▲20(▲19)	▲24
製商品在庫	「過大」—「不足」	6	2	8	6	8	2(—)	—
仕入価格	「上昇」—「下落」	15	19	3	10	3	13(12)	19
販売価格		▲6	▲11	▲13	▲11	▲15	▲11(▲12)	▲6

(2) 生産・営業用設備判断 DI(「過剰」—「不足」)

	15/9月	12月	16/3月	6月	9月	12月	17/3月 (予測)
製 造 業	0	▲11	▲15	0	▲8	▲8(0)	0
非 製 造 業	▲3	▲5	0	0	0	0(0)	0
全 産 業	▲2	▲8	▲6	0	▲3	▲3(0)	0

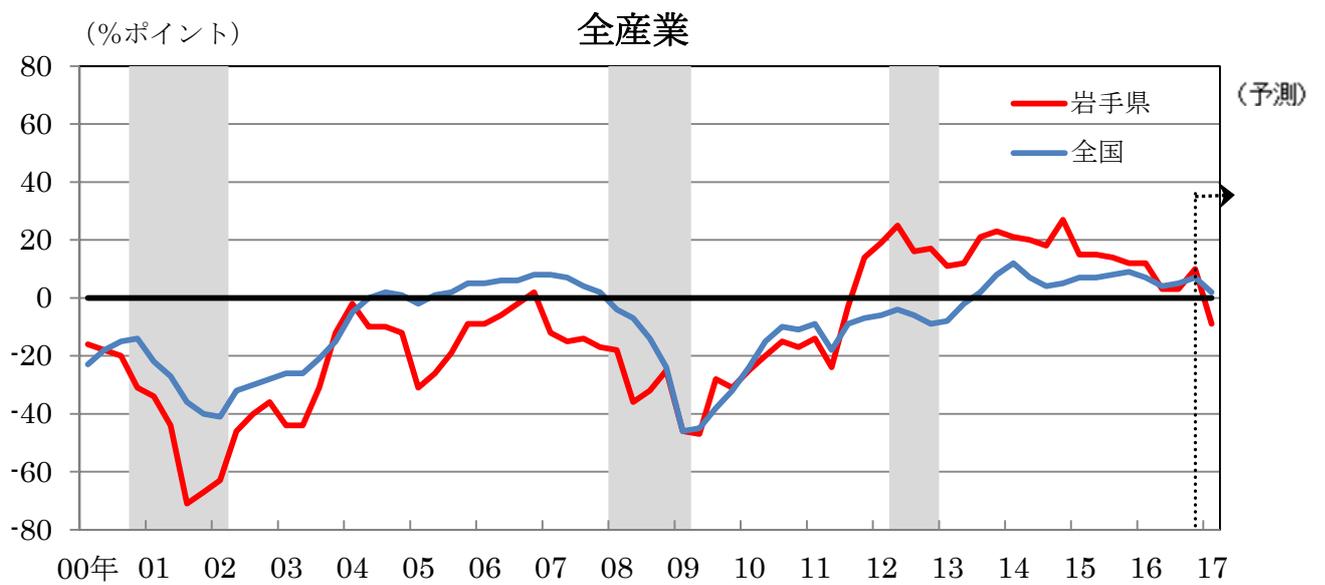
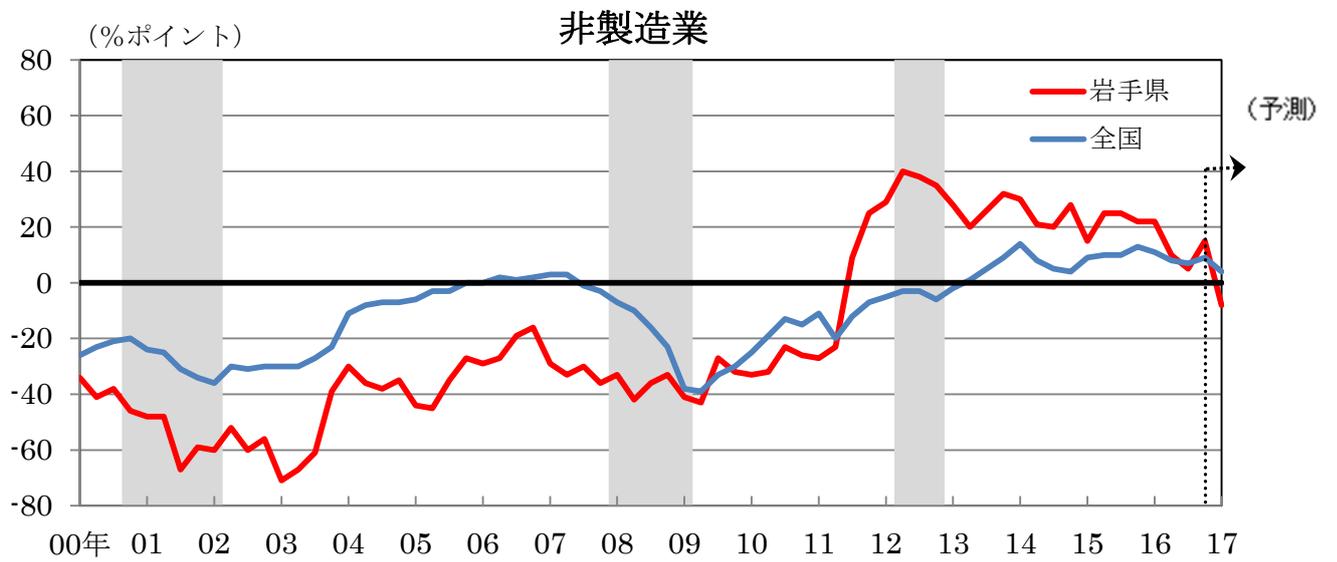
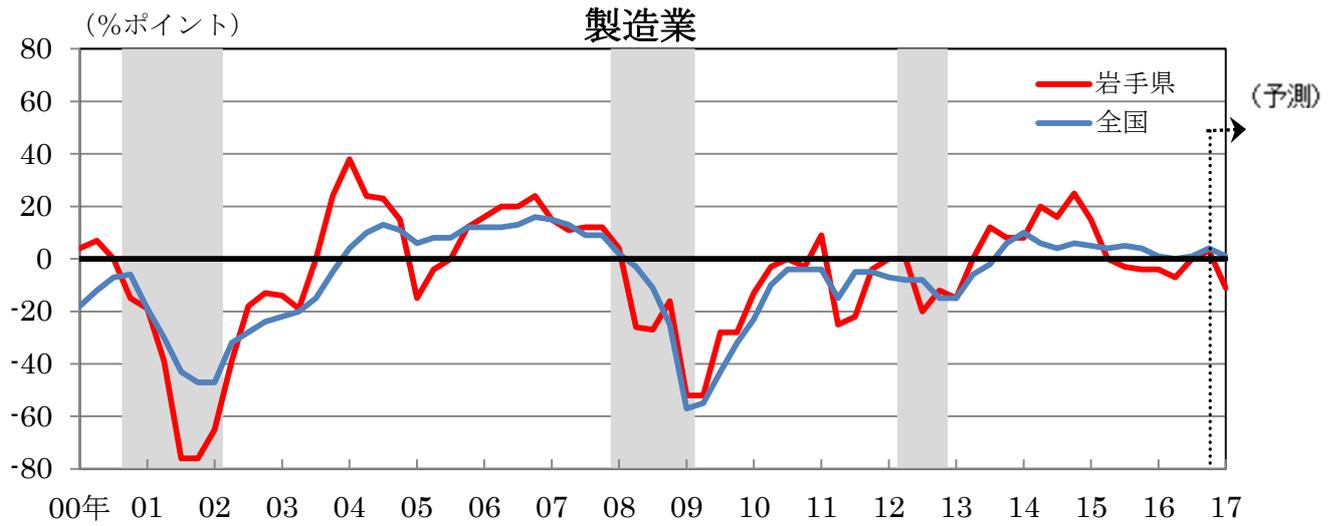
(3) 雇用人員判断 DI (「過剰」—「不足」)

	15/9月	12月	16/3月	6月	9月	12月	17/3月 (予測)
製 造 業	▲12	▲19	▲23	▲29	▲37	▲33(▲34)	▲22
非 製 造 業	▲32	▲27	▲25	▲15	▲25	▲28(▲18)	▲13
全 産 業	▲24	▲24	▲24	▲21	▲30	▲30(▲24)	▲17

(4) 企業金融関連判断 DI (全産業ベース)

		15/9月	12月	16/3月	6月	9月	12月	17/3月 (予測)
資金繰り	「楽である」—「苦しい」	15	10	12	6	9	8(—)	—
金融機関 貸出態度	「緩い」—「厳しい」	20	18	13	17	15	12(—)	—
借入金利 水準	「上昇」—「低下」	▲6	▲5	▲14	▲14	▲7	▲11(▲7)	▲8

(参考2) 岩手県の業況判断DIの推移



(参考3) 東北地区(6県)及び全国の業況判断DIの推移

()内は前回予測

		15/9月	12月	16/3月	6月	9月	12月	17/3月 (予測)
製造業	全国	5	4	1	0	1	4 (0)	1
	東北	▲ 1	1	▲ 4	▲ 4	0	3 (▲ 3)	▲ 4
	岩手	▲ 3	▲ 4	▲ 4	▲ 7	0	3 (▲ 8)	▲ 11
非製造業	全国	10	13	11	8	7	9 (4)	4
	東北	15	18	11	8	10	9 (2)	1
	岩手	25	22	22	10	5	15 (0)	▲ 8
全産業	全国	8	9	7	4	5	7 (2)	2
	東北	9	11	6	4	6	6 (1)	▲ 1
	岩手	14	12	12	3	3	10 (▲ 3)	▲ 9

(参考4) 東北各県の業況判断DIの推移

()内は前回予測

		15/9月	12月	16/3月	6月	9月	12月	17/3月 (予測)
全産業	岩手	14	12	12	3	3	10 (▲ 3)	▲ 9
	青森	8	7	6	5	6	3 (▲ 1)	▲ 1
	宮城	8	6	5	2	1	▲ 1 (▲ 2)	▲ 1
	秋田	0	0	▲ 6	▲ 5	▲ 4	▲ 1 (▲ 6)	▲ 5
	山形	0	13	2	▲ 2	0	6 (0)	▲ 5
	福島	15	18	10	10	12	12 (4)	6

以上

本件に関する問い合わせ先

日本銀行盛岡事務所

TEL : 019-624-3622 (代)

<http://www3.boj.or.jp/morioka/>